

## マクスウェル-ボルツマン分布

気体は多数の分子を含み、各分子をそれぞれ異なる速度で運動している。三次元空間の気体分子の運動エネルギーは3つの速度成分  $v_x, v_y, v_z$  で決まる。

$$e = \frac{1}{2}mv^2 = \frac{m}{2}(v_x^2 + v_y^2 + v_z^2) \quad (\text{運動エネルギー})$$

熱平衡状態にある分子が1つのエネルギー状態をとる確率はボルツマン因子

$$e^{-\frac{e}{k_B T}} \quad (\text{ボルツマン因子})$$

に比例する。その確率を  $p_e$  とすると、分子が取り得る状態の確率をすべて足し合わせた値は1でなければならない。

$$\sum_e p_e = \sum_e N e^{-\frac{e}{k_B T}} = 1 \quad (\text{規格化})$$

ここで、 $N$  は規格化定数であり、確率  $p_e$  の総和が1になるように定められる。

$$\begin{aligned} 1 &= \sum_e N e^{-\frac{m}{2k_B T}(v_x^2 + v_y^2 + v_z^2)} = N \sum_{v_x} \sum_{v_y} \sum_{v_z} e^{-\frac{m}{2k_B T}(v_x^2 + v_y^2 + v_z^2)} \\ &= N \int_0^\infty \int_0^\infty \int_0^\infty e^{-\frac{m}{2k_B T}(v_x^2 + v_y^2 + v_z^2)} dv_x dv_y dv_z \\ &= N \int_0^\infty e^{-\frac{mv_x^2}{2k_B T}} dv_x \int_0^\infty e^{-\frac{mv_y^2}{2k_B T}} dv_y \int_0^\infty e^{-\frac{mv_z^2}{2k_B T}} dv_z \end{aligned}$$

ここで、速さは連続的に分布するとして和を積分に置き換えた。3つに分離された定積分の各々はガウス積分であり、次の値となる。

$$\int_0^\infty e^{-\frac{mv_x^2}{2k_B T}} dv_x = \frac{1}{2} \sqrt{\frac{2\pi k_B T}{m}}$$

これより、規格化定数が求められる。

$$N = 8 \left( \frac{m}{2\pi k_B T} \right)^{3/2}$$

したがって、気体分子がある速度状態  $(v_x, v_y, v_z)$  をとる確率が得られる。

$$p_e(v_x, v_y, v_z) = 8 \left( \frac{m}{2\pi k_B T} \right)^{3/2} e^{-\frac{m}{2k_B T}(v_x^2 + v_y^2 + v_z^2)}$$

熱平衡にある気体において  $v$  から  $v + dv$  のあいだの速さをもつ気体分子の割合  $F(v)dv$  を求めるには、二乗和  $v_x^2 + v_y^2 + v_z^2$  の値が等しくなる状態の数を数えて確率  $p_e(v_x, v_y, v_z)$  に乗じればよい。それらは、三次元速度空間  $(v_x, v_y, v_z)$  において原点から等距離にある球殻上において、全方位の 8 分の 1 を占める範囲に存在する。 $v^2 = v_x^2 + v_y^2 + v_z^2$  として、立体角の 1/8 に相当する球殻の面積  $4\pi v^2/8$  をかけることによって次の分布関数を得る。

$$F(v)dv = \frac{1}{8} \frac{m}{2\pi k_B T} e^{-\frac{mv^2}{2k_B T}} (4\pi v^2) dv$$

これを、マクスウェル—ボルツマン分布という。

<別解> 球座標による規格化積分の計算。

$$\begin{aligned} 1 &= \int_0^\infty N e^{-\frac{m}{2k_B T}(v_x^2 + v_y^2 + v_z^2)} dv_x dv_y dv_z = N \int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} e^{-\frac{m}{2k_B T}(v_x^2 + v_y^2 + v_z^2)} dv_x dv_y dv_z \\ &= N \int_0^\infty \int_0^\pi \int_0^{2\pi} e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} v^2 \sin\theta d\theta d\phi dv \\ &= N \int_0^\infty v^2 e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} dv \int_0^\pi \sin\theta d\theta \int_0^{2\pi} d\phi = N \int_0^\infty v^2 e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} dv \cdot 2 \cdot 2\pi \\ &= N \frac{2\pi}{2} \int_0^\infty v^2 e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} dv = N \frac{\pi}{2} \int_0^\infty v^2 e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} dv = N \frac{\pi}{2} \frac{2}{m} \int_0^\infty v e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} dv \\ &= N \frac{\pi}{m} \int_0^\infty v e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} dv = N \frac{\pi}{m} \left[ -\frac{1}{2} e^{-\frac{m}{2k_B T} v^2} \right]_0^\infty = N \frac{\pi}{2m} \end{aligned}$$